

# 能代産業廃棄物処理センターにおけるボーリング調査の状況について

環境整備課

## 1 経緯

- 12月5日（木）、午前10時から、地元住民、能代市の立会のもと、ボーリング掘削を開始した。
- 午後0時頃、地表から5.9～6.3mの深さに空洞があり、その底に油状物質を確認したため、掘削を中止した。
- 検体を採取し、県健康環境センターにおいて分析を実施した。
- 12月6日（金）、午後1時30分から、状況を地元住民に説明した。



## 2 分析結果

- 採取した油状物質は、オレンジ色～黄褐色で粘性は低く、pH（水素イオン濃度）は、ほぼ中性であった。
- トルエンや香料の成分のほか、ベンゼン、トリクロロエチレン等のVOCが検出された。

## 3 今後の対応

- ボーリング調査については、当初予定どおり（10本）進め、全体の状況把握に努める。
- 追加のボーリングについては、住民の意見を聴きながら調査地点などを検討する。